

# 平成 26 年度 川崎医学会会員総会議事録

平成 26 年 8 月 2 日

日時：平成 26 年 8 月 2 日 11:30～12:15

場所：校舎棟 M800

## 1. 会長挨拶

福永会長から挨拶を頂いた。

## 2. 会則 (大槻委員長)

配布資料に従って各項目が説明され、承認された。

主な事項として、

### 1) 名誉会員

昨年度より、助教～教授、その他の役職者を含めて定年退職した会員で、功労のあった会員を名誉会員とすることを決定した。但し、定年退職後も川崎学園に奉職中で、給与天引きが可能である間は名誉会員ではなく正会員とすることが提案された。また、過去に遡って定年退職された会員の処遇をどのようにすべきかについて議論が行われ、原則として過去には遡らず、名誉会員という枠組みが平成 25 年度から新設されたことを会則に明記し、Web 上に氏名を記載していくことが提案され、承認された。

### 2) 評議員

評議員の人選について、従来は欠員が出た段階で候補者を決めて補充してきたが、今年度より教授職(所属のある特任教授を含む)の先生には全員評議員になって頂くように変更すること(監事を除く)、また、現在既に評議員となっている先生方は准教授以下であっても留任とすることが提案され、承認された。

### 3) 監事

監事は本会において他の役職には就けないことを会則に明記することが提案され、承認された。

以上の案件については、医学会会則の内規として順次整備していくことが報告された。

## 3. 会計 (佐々木委員、大槻委員長)

1) 平成 25 年度決算案：各項目が説明され、会計監査で適正と判断されたことが報告され、承認された。具体的には、中国銀行定期預金を解約してデジタルサイネージシステムを購入し、残金を一般会計へ移管したこと、また、会誌のデジタル化に伴い、従来多額の費用を計上していた会誌印刷費・郵送費が大幅に減少したことが報告された。

2) 平成 26 年度予算案：各項目が説明され、承認された。具体的には、上記 1) と同様、会誌のデジタル化に伴い、従来多額の費用を計上していた会誌印刷費・郵送費が大幅に減少することが報告された。

## 4. 川崎医学会賞 (大槻委員長)

### 1) 研究奨励賞

医科大学研究委員会での選考結果が報告され、承認された。

- ・城所研吾先生(腎臓・高血圧内科学)

対象論文：Maintenance of endothelial guanosine triphosphate cyclohydrolase I ameliorates diabetic nephropathy.  
*J Am Soc Nephrol.* 24 : 1139-1150, 2013

### 2) 医学会誌論文賞

医学会誌編集委員会での選考結果が報告され、承認された。

- ・山下哲正先生(乳腺甲状腺外科学)

対象論文：エストロゲン受容体陽性乳癌細胞における抗エストロゲン薬と mTOR 阻害薬エベロリムスの細胞増殖及び癌幹細胞制御に対する効果  
*川崎医学会誌* 39 : 65-79, 2013

- ・鎌尾浩行先生(眼科学 1)

対象論文：Generation of retinal pigment epithelium from human induced pluripotent stem cells showed polarized secretion of VEGF and PEDF.

また、上記3名の受賞者については（留学中の城所先生は除く）、本日開催の学術集会において受賞講演をして頂くことが報告された。

#### **5. 会誌**（大槻編集委員長）

平成25年度は和文・英文の混合誌としての最終年度であり、日本語論文12本、英語論文8本で刊行された。今年度より、和文誌と英文誌を分離刊行する形態に移行した。現在のところ、*Kawasaki Medical Journal*（英文誌）に9本、川崎医学会誌（和文誌）に17本の論文が査読中を含めて投稿されており、順調に推移している。

#### **6. 講演会**（山内委員）

昨年度より、教授就任の先生方には医学会講演会においてご自身の研究内容をお話して頂くようにしている。平成25年度は、計32回の講演会（学外講演者26回、学内講演者6回【うち川崎医学会受賞講演会1回、教授就任講演会5回】）が行われたこと、平成26年度は開催予定を含めて既に17回が決定しており（学外講演者11回、学内講演者6回【うち川崎医学会受賞講演会1回、教授就任講演会5回】）、講演回数が近年増加傾向にあり、今年度も昨年度に近いペースで開催されていることが報告された。

文責：庶務 橋本